

Reference

1. Lichtenthal PR. Proc Am Soc Anesth Annual Meeting; 2011.
2. Lichtenthal PR, et al. Br J Anaesth. 2011;107(5):821-2. PMID:21997161
3. Bhardwaj N. J Anaesthesiol Clin Pharmacol. 2013;29(1):13-8. PMID:23492803
4. Ho AM, et al. Anaesthesia. 2002;57(2):173-5. PMID:11871955
5. Weiss M, et al. Br J Anaesth. 2006;96(4):486-91. PMID:16464981
6. Haas CF, et al. Respir Care. 2014;59(6):933-52; discussion 52-5. PMID:24891200

販売名 Shiley小児用気管チューブ
医療機器認証番号 230AABZX00008000

販売名 TaperGuard 気管チューブ
医療機器認証番号 221AABZX00145000

販売名 気管内チューブ
医療機器承認番号 15300BZY00890000

Medtronic

Shiley™ テーパーガード™小児用気管チューブ



Designed for your
smallest patients



子どもはおとなを小さくしただけの存在ではありません。
わたしたちは
子どもの解剖学的特性に合わせた気管チューブをご提案します。

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。

© 2024 Medtronic. Medtronic及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。
TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。

Medtronic

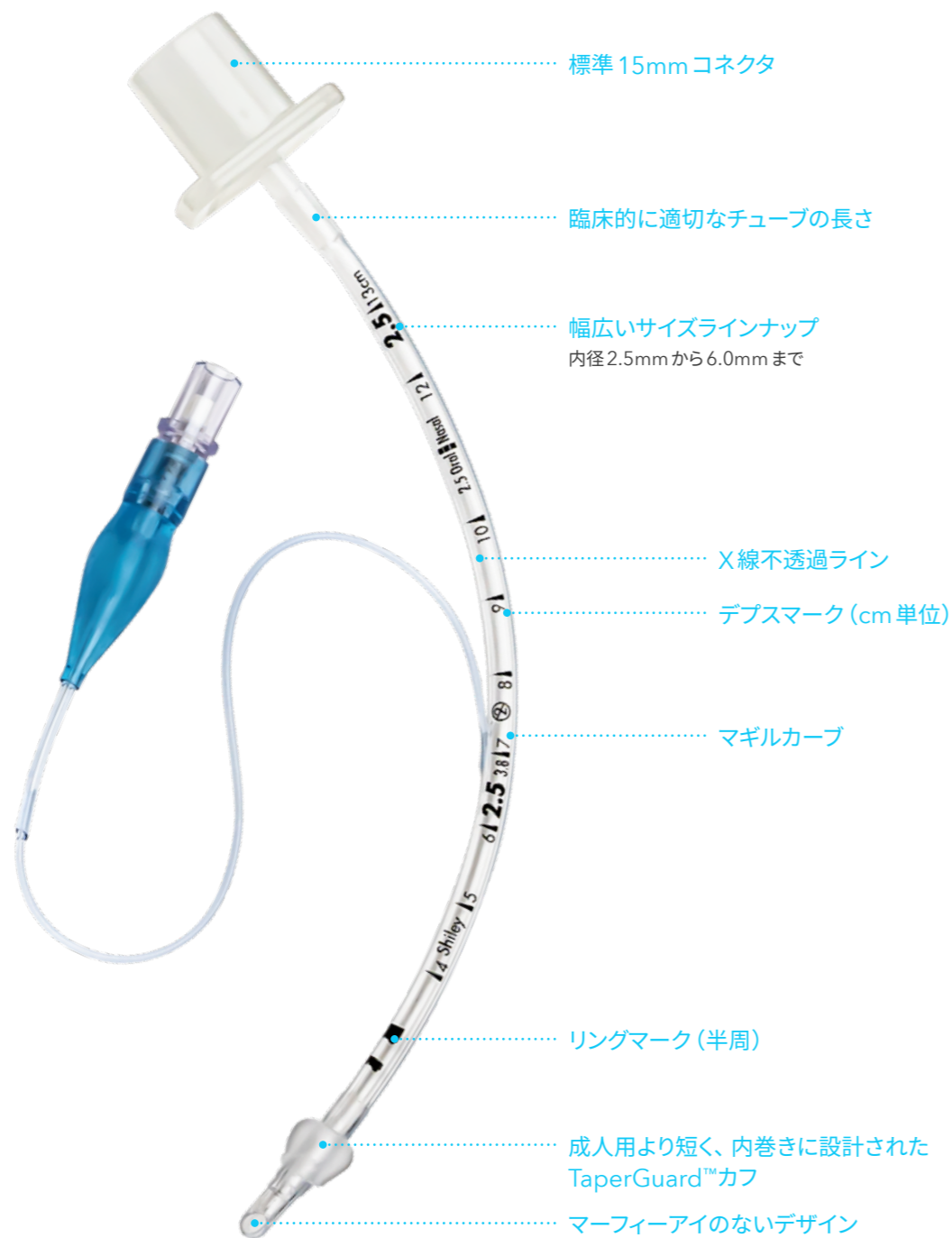
製造販売元
コヴィディエンジャパン株式会社
Tel: 0120-998-971

medtronic.co.jp

ct-aw-sptg(m1)2401
RMS_2023_1454-A-1

よりよい小児気道確保のために

Shiley™テーパーガード™小児用気管チューブは、小さな患者さんのニーズを満たし、安全域を改善することを目的としてデザインされています。



カタログ番号	内径 (mm)	外径 (mm)	長さ (mm)	カフ直径 (mm)
86125	2.5	3.8	140	8.0
86130	3.0	4.4	160	9.1
86135	3.5	5.0	180	10.1
86140	4.0	5.7	200	11.5
86145	4.5	6.3	220	12.3
86150	5.0	6.9	240	14.2
86155	5.5	7.5	270	15.6
86160	6.0	8.2	280	17.2

TaperGuard™カフ

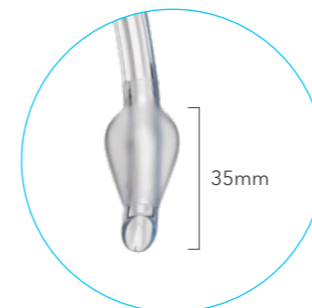
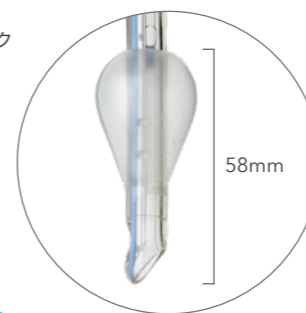
従来の樽型カフと比較して、カフ膜が薄く、テーパー型、低圧のTaperGuard™カフは¹⁾²⁾

- カフ収縮時のかさばりが小さく、挿入時の声帯通過を容易にすることが期待されます。
- カフを膨張するために必要なエア容量が少なく済みす。
- シーリング性向上・誤嚥の減少が期待できます。

低圧カフは、抜管後合併症の発生率についてカフのないチューブと比較して同様に低いことが報告されています³⁾。



テーパーガード™ エバック気管チューブ (成人用) 内径6.0mm



Shiley™ テーパーガード™ 小児用気管チューブ 内径6.0mm

カフ付きチューブにおけるマーフィーアイ“なし”

小児患者における気管チューブ留置は、気管領域の解剖学的な短さのため、誤差許容は小さいといえます。遠位先端に位置するマーフィーアイは、より小さな気管チューブにカフを装着する際には課題となりえます。カフ設置位置が高すぎると、チューブの誤った位置への留置や気管損傷につながる可能性があります。カフ付きのShiley™テーパーガード™小児用気管チューブでは、マーフィーアイのないデザインを採用し、留置安全域を下記のように改善しています⁴⁾⁵⁾。

- TaperGuard™カフをチューブ先端に近い位置に配置できるようにし、カフが確実に気管内に留置されるようにする
- カフが喉頭壁を圧迫するのを防ぐ
- 予期せぬ気管支への挿入リスクを軽減

フーデッドチップ

標準的なETTは、フラットで開先が傾斜しています。Shiley™テーパーガード™小児用気管チューブの内径2.5mm及び3.0mmは、小児の気道をさらに保護するためのフーデッドチップを備えています。フーデッドチップは、二段階に及ぶ成形段階を介して、斜めになったチューブ先端を丸めるように形成されます。フード状の先端が丸く斜めになっていることで、チューブが声帯を通過しやすくなり、挿管時の外傷を軽減することが期待されます⁶⁾。



DEHPフリー

体温で柔らかくなり、気道に合わせて変形するラテックスフリー、非DEHPのPVC素材を使用しています。